

# 「現地に思い届けて」 復興へ3団体寄付

## 沖繩全国ふるさと会

## 有志の会・県法人会連合会

### 本島北部豪雨義援金



沖繩タイムス社の武富和彦社長(右)に義援金を手渡す沖繩全国ふるさと会の吉岡修代表理事(中央)と高久健治理事・事務局長(左)2日、那覇市・沖繩タイムス社

本島北部豪雨の被災地支援に役立ててほしいと2日、3団体が沖繩タイムス社に義援金を託した。

沖繩全国ふるさと会は10



義援金を託した有志の会の(右から)喜友名智子県議、糸数慶子元参院議員、仲栄真恵美子北谷町議

万6679円。会員団体の交流会で、21県人会に寄付を呼びかけた。吉岡修代表理事は「手助けしたいという家族のような気持ちがある」と語った。



糸数慶子元参院議員が呼びかけ人を務める有志の会は10万6398円。糸数さん、喜友名智子県議、仲栄真恵美子北谷町議は「県民に加え、県外海外の観光客からも支援をいただき励まされた。その思いを現地に届けてほしい」と願った。県法人会連合会(上間優会長)は10万円。上間会長は「会員企業も被害に遭った。河川の氾濫は想定外で、少しでも復興のお役に立てたら」と話した。

義援金を預ける県法人会連合会の上間優会長(右から4人目)。同席した(右から)新垣力太沖繩北部法人会会長、石川元義北那覇法人会会長。(左から)銘苅茂県法人会連合会専務理事、大城高志北那覇法人会専務理事、普久原朝泰沖繩中部法人会会長